

■2002-2003■



岐阜中週報

会 長 勝 野 和 男
 幹 事 杉 山 正 裕
 発行者 ウェブ委員会
 委員長 中 山 章
 例 会 毎週火曜日 12時30分
 会 場 岐 阜 ルネッサンスホテル
 事務局 岐 阜 市 神 田 町 2-2
 電 話 264-9235 番

平成 14 年 10 月 25 日(金)
 第 495 号
 第 571 回例会

Sow the Seeds of Love
 慈愛の種を播きましょう R.I.会長 ビチャイ・ラタクル

2002～2003 国際ロータリー
 第 2630 地区岐阜 A 分区合同例会
 [於 岐阜グランドホテル]
 服部芳樹ガバナー公式訪問



本日をもって地区80クラブ12分区の公式訪問、IMは全て終了します。その間には数時間に及ぶ会長幹事懇談会もありました。すべてのクラブが平穏無事に活動しているわけではなく、かなり深刻な悩みをかかえているクラブもありました。しかしどのクラブも非常に積極的に前向きな姿勢で奉仕活動に取り組

んでおられる姿に敬服致しました。言うまでもなくロータリーは、ボランティア団体でもなく寄付団体でもありません。Paul Harrisの言葉にもあるように、“寛容と善意と奉仕”から生まれた、慈愛の心を磨くための集まりであります。そして奉仕の出発点は職業奉仕でありました。

しかるに今日、ロータリー財団(TRF)の華々しい国際奉仕活動が、ロータリーのすべての奉仕活動であるかのように考えられて居ります。近年の国際ロータリー(RI)の会長が示す活動方針も、基本的なロータリーの理念を忘れたかの感があることは否めない事実であります。私はこのRIとTRFとの現状を“御者の居ない2頭立ての馬車”と言っています。どちらがリーダーの馬か、力強い方が行く手の途を決めることになるでしょう。

ここに於いて、本年度のB.Rattkul RI会長は、ロータリーの原点を見直

すことをその方針として掲げられました。言い換えればPaul Harrisの心をそのままそっくりテーマとして掲げられました。近年になく、我々の心の琴線がはげしく掻き鳴らされる所以であります。

そしてまたこれは、今日のRI、TRFに対する極めて辛辣な批判でもあります。私は彼のこの信念と勇気、何よりもロータリーの本質を愛する心に魅せられ、B.Rattkul会長のガバナーであることを誇りに思い、この巡り合わせを幸せに思っております。

(講話前置き)



前例会の記録

平成14年 10月12日 (土)

- [点鐘]
- [ソング]
- [ゲスト]
- [ビジター]

[出席] 会員総数45名
 (出席免除0名、猶予0名)
 本日出席31名 68.88%
 [行事] 会長挨拶・食事・幹事報告・
 委員会報告・ニコボックス報告
 「ガバナー公式訪問合同例会」
 担 当 会 長

次 回 予 定 第572回

平成14年10月27日 (日)

- [点鐘]
- [行事] 地区大会
 担当 地区大会支援委員会

服部ガバナー挨拶

本日は多数の会員を迎え、こうして私の最後の公式訪問ができたことを大変うれしく思います。

ロータリーの基本、それは寛容と善意そして奉仕です。中でも職業奉仕が基本であると思います。しかしながらポール・ハリスの提唱したそんな基本姿勢も時代の流れとともに変わってきてしまっているのは否めません。その意味でも今、RI会長ビチャイ・ラタクル氏の言葉「慈愛の種を播きましょう」は大変深く重みを持った言葉として会員ひとりひとりが受け止めなければならないと思います。現在は各クラブの規模、大きさが問題になるのではなく、そのクラブが何をし、何をしようとしているのかが重要な

のです。当然ながらそこにはトップダウンではなくボトムアップという考え方がなくてはなりません。

「慈愛の種」は会員ひとりひとりが、そしてそれぞれのクラブが会員の為に、地域社会の為に、世界の為に播いていきたいものです。それによって咲く花はもちろん今年ではないかも知れませんが、あくまでいつか花開くという事で良いのです。

また、ボトムアップの為に各クラブの自主性をもっともっと高めていきたいと思っています。

本来、地区委員会の仕事というのは、各クラブがされることのお手伝いであるということです。

その為にもパスト会長、幹事経験者、長老と言われる皆様がもっと元気になって各クラブをひっぱって行って

もらいたいのです。それが「慈愛の種」となっていつか大きく花開くことでしょう。

本日は皆さんご出席いただき本当にありがとうございます。

同日 長良川ロータリークラブ主催 インターシティミーティング

3つの分科会（ロータリーの魅力・職業奉仕の活性化・会員の維持、増強）に別れ、各テーブルリーダーを中心として活発な意見交換がなされました。

*丸一日となりましたが、出席会員の皆さん本当にごくろうさまでした。